「メタバースを活用した不登校児童生徒支援事業」業務委託に係る企画提案募集 質問についての回答

No	質問	回答
1	<p>共同体での参加は認めていただけますでしょうか。具体的には、弊社と別の株式会社との協業によってご提案させていただき、仮に受託した際にも運営は2社で行うという形です。</p>	<p>以下の条件をすべて満たす場合には、共同体での参加を認めることとする。</p> <p>①共同事業体の全ての構成員が、企画提案募集要項6の応募資格の要件を全て満たすこと。</p> <p>②共同事業体の構成員が単独団体又は他の共同事業体の構成員として、本事業のプロポーザルに重複して参加していないこと。</p> <p>③構成事業者ごとに、法人概要（様式第3号）を提出すること。</p> <p>④以下の書類を作成し、提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「別紙1 令和7年度メタバースを活用した不登校児童生徒支援事業業務委託共同事業体協定書」 ・「別紙2 共同事業体委任状」 <p>※別紙1、2 公告ページに掲載</p>
2	<p>仕様書 5 メタバース空間及び運用に関する詳細要件</p> <p>(1)メタバース空間について コミュニケーション</p> <p>(イ) (オ) 特定のユーザーに限定した文字チャット及び音声通話が要件としてございますが、例えば、入室人数2名限定の個室を用意させていただき、特定ユーザー同士のお話したい場合は個室にてお話いただくという運用での代替でよろしいでしょうか。</p> <p>質問背景</p> <p>複数名がアクセスしている環境下で、自由に個別の文字・音声通話ができると、誰が誰とどんな会話をしているかがわからないという環境となり、心理的安全性を担保しきれない懸念があります。できる限り、会話はオープンにしつつ、個別会話ニーズにも個室を用意することで代替することが望ましいと考えております。</p>	<p>代替は認めない。</p> <p>この仕様については、運営側（支援員）が全体の空間の中で、児童生徒個人に対して、音声通話、文字チャットを想定しているものである。</p>

No	質問	回答
3	<p>公示書の「11委託契約（1）オ」の再委託に関する記載について、</p> <p>「業務の一部再委託については、書面によりあらかじめ県教育委員会の承諾を受けたときは可能な場合がある」といった内容が記載されていますが、この書面による承諾とは、具体的にどういった手順によって承諾いただけるものかご教示いただけますでしょうか</p>	<p>具体的な手続きとしては、契約締結の際に、再委託の相手方や業務の範囲、再委託の必要性や経費等について書面での提出を求め、再委託の妥当性や効率性等により再委託の可否を判断することとなる。</p> <p>なお、再委託を予定している場合には、様式第2号（企画提案説明書）「4業務の遂行能力（1）実施体制について」にその旨を記載すること。</p>
4	<p>公示書の「11委託契約（1）オ」の再委託に関する記載について、受託業務の一部再委託については、受託料の何パーセントまでであれば認めていただけるか、ご教示いただけますでしょうか</p>	<p>再委託の可否については、前述（No3）の回答のとおり判断するため、一概に受託料の何パーセントまでとはお答えできない。</p>